

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神障害治療学Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期	前期	教室名	801
担 当 教 員	大野 力				
実務経験と その関連資格	作業療法士として精神科病院へ勤務。統合失調症などの精神障害領域の作業療法に5年間従事。 臨床実習指導者研修修了認定 MTDLP基礎研修修了 作業療法学修士学位取得 認定作業療法士資格取得 作業療法学会論文査読委員				

《授業科目における学習内容》

GIO:回復過程に沿った疾患別精神機能作業療法の基本を習得する。SBO:①精神障害者への作業療法について知る。②精神機能の回復過程に沿った精神機能作業療法の視点を述べられる。③精神科作業療法の理論を説明できる。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験: 60%
2. 小テスト: 20%
3. レポート: 20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:精神障害と作業療法 一新版一

参考図書:標準作業療法学 専門分野 精神機能作業療法学 第3版、ゴールドマスターテキスト 精神障害作業療法学 第3版

《授業外における学習方法》

予習することが望ましい。講義は教材を読んでいる前提で行います。
精神障害全般の作業療法介入について講義を行うので、精神医学・作業療法評価学との関連も意識してください。

《履修に当たっての留意点》

精神機能作業療法について、障害者への治療・援助・支持介入が繋がるように講義展開する。評価技術の臨床思考について、演習を実施。プロセスレコードを用いて、読み解き方、プレ統合と解釈を行い、臨床思考について学習体験します。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	ひとと病い、障害と受容について言えるようになる。	教科書・参考書	第1章 ひとと病い、障害と受容の予習
	各コマにおける授業予定	ひとと病い、障害と受容の基本的視点		
第2回	授業を通じての到達目標	精神障害者の歴史が言えるようになる。	教科書・参考書	第2章 精神保健医療福祉と作業療法の予習
	各コマにおける授業予定	精神保健医療福祉と作業療法		
第3回	授業を通じての到達目標	作業療法の特性について言える。	教科書・参考書	第3章 作業をもちいる療法の特性の予習
	各コマにおける授業予定	作業療法の役割・効果		
第4回	授業を通じての到達目標	作業療法の特性について言える。	教科書・参考書	第3章 作業をもちいる療法の特性の予習
	各コマにおける授業予定	作業療法の役割・効果		
第5回	授業を通じての到達目標	作業療法の視点について言える。	教科書・参考書	第4章 作業療法の治療・支援と治療機序の予習
	各コマにおける授業予定	作業療法の治療・支援		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	作業療法の視点について言える。	教科書・参考書	第4章 作業療法の治療・支援と 治療機序の予習
	各コマにおける授業予定	作業の要素		
第 7 回	授業を通じての到達目標	作業療法の視点について言える。	教科書・参考書	第4章 作業療法の治療・支援と 治療機序の予習
	各コマにおける授業予定	集団をもちいる作業		
第 8 回	授業を通じての到達目標	作業療法評価の流れが言える	教科書・参考書	第5章 作業療法の手順の予習
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の基本の流れ		
第 9 回	授業を通じての到達目標	作業療法評価の項目が言える	教科書・参考書	第5章 作業療法の手順の予習
	各コマにおける授業予定	作業療法評価 ①		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	作業療法の手順が言える	教科書・参考書	第5章 作業療法の手順の予習
	各コマにおける授業予定	作業療法評価 ②		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	医療記録(以下:プロセスレコード)を基に疑似対象者の評価ポイントを読み解くことができる。	教科書・参考書	参考資料の熟読
	各コマにおける授業予定	A氏の事例紹介、作業療法評価の実践 －面接記録・臨床思考の体験－		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	プロセスレコードを基に評価ポイントを読み解くことができる。	教科書・参考書	参考資料の熟読
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ー臨床思考の体験ー		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	評価ポイントを疑似対象者に合わせて整理する事が出来る。	教科書・参考書	参考資料の熟読
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ー臨床思考の体験ー		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	整理した評価を対象者像に合わせて項目別にまとめる事ができる。	教科書・参考書	参考資料の熟読
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ー症例報告書作成ー		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	精神機能の回復過程、各回復過程および各疾患の作業療法の視点を言える。	教科書・参考書	教科書の復習
	各コマにおける授業予定	総合復習		